

(宝井)榎本其角 俳人。服部蘭雪と「虚栗」編纂し蕉門を確立、芭蕉の死も看取る。都会的"洒落風"で江戸座の祖に。  
えのもときかく  
清帝国始・・・1661 = 江戸に生まれた。父は医師竹下東順。

酒井忠清大老1666 = 5歳 :

・・・・・・・1670 = 9歳 :

草刈三越に医を、大願和尚に詩、易を学んだという。

\_10代の半ば芭蕉に入門。

越後騒動・・・1679 = 18歳 :

徳川綱吉將軍1680 = 19歳 :

\_おりからの"天和調"の中で、芭蕉の指導の下に、「田舎之句合」「虚栗」などを編み、

八百屋お七・1683 = 22歳 : \*「虚栗」刊。

堀田正俊暗殺1684 = 23歳 : 「蠹集(しみしゅう)」刊。

・・・・・・・1686 = 25歳 : 「新山家」刊。

生類憐令始・1687 = 26歳 : \*以降、大名や富商の門に出入りし、作風も浮世の人事風俗や遊興的な作意に新しい展開を見せ、"洒落風"と称される。「吉原源氏五十四君」成る。その後もよく芭蕉の変風を理解し、「続虚栗」(刊)や、

日本永代蔵・1688 = 27歳 : 大坂に井原西鶴を訪問する。

湯島聖堂・1690 = 29歳 : 「花摘」刊。\_「いつを昔」(刊)で蕉風俳諧の実を示す。

別子銅山始・1691 = 30歳 : 「猿蓑」序や、

世間胸算用・1692 = 31歳 : 「雑談集」に俳諧を"幻術"として説くなど、彼らしい俳諧、俳人に対する見解を見せている。

奥の細道・1693 = 32歳 : 「秋の露」刊。\_芭蕉の信頼も晩年までかわらず、

芭蕉+師宣没 1694 = 33歳 : 「句兄弟」。\*上方旅行中奇しくも芭蕉の死に行きあい、「芭蕉翁終焉記」を書き「枯尾花」を刊行した。

生類憐令頂点1695 = 34歳 :

・・・・・・・1697 = 36歳 : 「末若葉」刊。

・・・・・・・1700 = 39歳 : 「三上吟」刊。

松の廊下事件1701 = 40歳 : 「焦尾琴」刊か。

・・・・・・・1706 = 45歳 :

富士宝永噴火1707 = 46歳 : 「類柑子」刊。\_長年の飲酒がたたって、没した。